

第6回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会議事録			
開催日時	令和6年8月1日(木) 午前9時45分～午前11時45分		
開催場所	北とぴあ 16階 1601会議室		
出席者	<p>・委員(敬称略)【16名出席】</p> <table border="0"> <tr> <td> <p><学識経験者></p> <p>会長 村山 顕人</p> <p>副会長 山口 勝己</p> <p>副会長 齋藤 博</p> </td> <td> <p><地元関係諸団体></p> <p>石井 清貴</p> <p>石井 勇介</p> <p>石澤 隆二</p> <p>日笠山 葵</p> <p>河奈 正道</p> <p>久保田 明雄</p> <p>葉山 相也</p> <p>丸野 由美子</p> <p>森岡 謙二</p> </td> </tr> </table> <p><北区関係職員></p> <p>藤野 浩史</p> <p>雲出 直子</p> <p>倉林 巧</p> <p>・事務局</p> <p>拠点まちづくり担当部拠点まちづくり担当課</p>	<p><学識経験者></p> <p>会長 村山 顕人</p> <p>副会長 山口 勝己</p> <p>副会長 齋藤 博</p>	<p><地元関係諸団体></p> <p>石井 清貴</p> <p>石井 勇介</p> <p>石澤 隆二</p> <p>日笠山 葵</p> <p>河奈 正道</p> <p>久保田 明雄</p> <p>葉山 相也</p> <p>丸野 由美子</p> <p>森岡 謙二</p>
<p><学識経験者></p> <p>会長 村山 顕人</p> <p>副会長 山口 勝己</p> <p>副会長 齋藤 博</p>	<p><地元関係諸団体></p> <p>石井 清貴</p> <p>石井 勇介</p> <p>石澤 隆二</p> <p>日笠山 葵</p> <p>河奈 正道</p> <p>久保田 明雄</p> <p>葉山 相也</p> <p>丸野 由美子</p> <p>森岡 謙二</p>		
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. これまでの振り返りと第6回検討会の進め方について</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り</p> <p>(2) 意見交換(グループワーク)</p> <p>4. その他</p> <p>○配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料本編 ・別紙1 第5回検討会での意見 ・別紙2 意見シートの回答 		
1. 開会			
事務局	皆さま、おはようございます。		
一同	おはようございます。		
事務局	<p>早い時間からお集りいただきまして、ありがとうございます。ただ今から第6回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会を開会させていただきます。私はこの策定検討委員会の事務局を務めさせていただきます、拠点まちづくり担当部長、小野村でございます。どうぞよろしく願いいたします。今日は初めからグループワーク形式の場所で座っていただいておりますので、背中越しでごあいさつとなるかと思いますが、ご承知おきください。</p> <p>冒頭、私のほうから少し、第5回の検討会以後のあたりについてお話をさせていただけたらと思っております。第5回の検討会では、予定しておりました中間報告の取りまとめができませんで、大変申し訳ございませんでした。事務局といたしましては、村山</p>		

会長からご指摘いただきました点、それから皆さま方からご意見等を頂きました点につきまして真摯に受け止めさせていただきまして、今後の検討会に生かしてまいりたいと考えてございます。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、皆さま方には開催通知等でもご案内しておりますが、第5回検討会后、区のほうでは6月議会が行われました。与野党の各会派からさまざまなご意見・ご質問等を頂いてございます。本日、委員の皆さま方には、既にお送りした資料の中でもご確認いただいていると思いますが、改めまして主なポイント3点について私からご報告させていただいた上で、事務局の検討状況等についてご説明をさせていただけたらと思います。

まず1点目でございます。基本計画策定の今後の進め方、いわゆるスケジュールでございます。本日、最後にもご説明させていただきますが、7月に予定しておりました中間報告、これに代わります検討会の議論の経過のまとめの報告を本年中に行いたいと考えてございます。

続きまして2点目でございます。第5回の検討会でお示しさせていただきましたシナリオ別の評価の資料、いわゆる事務局案の取り扱いでございます。委員の皆さま方からもさまざまなご意見を頂きましたので、評価の方法、それから区民の皆さまへの公表の仕方、このあたりにつきましては、今後、正副会長ともご相談させていただいた上で、改めて委員の皆さま方にもお示しさせていただきたいと考えてございます。これまでの検討会でご議論いただきましたメリット・デメリットの整理等、定性的な評価につきましては、基本的にはそのまま生かさせていただきたいと考えてございます。

併せて個別のミッション、また評価の視点など、これまでの評価で不足があると認められる部分につきましては、必要な修正等を行った上で改めて今後の検討会でご議論いただきまして、検討結果として取りまとめさせていただきたいと考えてございます。併せまして、その中で赤羽小学校の移転を想定しましたシナリオ5の③の取り扱いにつきましても、改めて移転する場合の評価の視点等を整理した上で、必要な評価等を行っていただければと考えてございます。

それから3点目でございます。いわゆる中間報告の内容を確定させる前に地域住民の意見を聞くことについて、でございます。私ども、拠点まちづくり担当部では、赤羽駅の他に十条駅、東十条駅、王子駅の駅周辺まちづくりの取り組みを進めてございます。これまで進めてまいりました駅周辺のまちづくりに関わる計画策定等の際にも、いわゆる中間報告のような一定の方向性が見えた時点で、地域住民の皆さまから意見を聞く場を設定してきてございます。そのようなこともありますので、この検討会におきましても年内の議論の経過とまとめを取りまとめた段階で、広く区民の皆さま方の意見を聞いてまいりたいと考えてございます。

なお、本日最後にご提案させていただきますが、この後、委員の皆さま方にはグループワークを行っていただきます。そこでご意見を頂きたいと考えている内容と同程度の項目で、地域住民へのアンケート調査を実施したいと考えておりまして、これによりまして地域住民の皆さまの声を一定程度補完できるものと考えてございます。

以上が議会での質疑応答の主なポイントと、その後の事務局の検討状況でございます。

なお、第5回検討会では委員の皆さま方から事務局案に対してさまざまなご意見を頂きましたが、第4回検討会までは事務局からの説明に多くの時間を割いてしまったこともございまして、皆さまに意見を述べていただく時間を十分取れなかったかなと考えて

	<p>ございます。本日は改めまして、赤羽駅周辺のまちづくりに係る現状と課題等につきまして、委員の皆さまにグループワークによる意見交換を行っていただくことにいたしました。どうぞよろしくお願いたします。以上、事務局を代表してのごあいさつと第5回検討会以後からの経過説明とさせていただきます。</p> <p>それでは会議に入らせていただきたいと思います。本日でございますが、東京消防庁赤羽消防署の大森委員、それから赤羽警察署 橋本委員、岩淵町自治会 織戸委員より欠席のご連絡を頂いてございます。また、山本委員、多少遅れると聞いてございますので、後ほど遅参ということで出席いただくことになってございます。</p> <p>それでは、ここからは村山会長、進行のほど、どうぞよろしくお願いたします。</p>
会長	はい、承知しました。皆さん、おはようございます。
一同	おはようございます。
会長	<p>前回の検討会から今日までの経過については、今、小野村部長からご説明のあったとおりでございます。これまでの検討内容は白紙になったわけではありませんので、冷静に仕切り直しをして、皆さんにとって重要なポイントをしっかりと議論していくということで、ご理解いただければと思います。いつもとは違う形式でグループワークもありますので、積極的にご発言いただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、開催に先立ちまして傍聴される方へお願がございます。傍聴に当たっては、傍聴席上へ配布の検討会資料表紙の記載事項に留意し傍聴いただきますよう、よろしくお願いたします。それでは、次第に沿って進行していきます。次第の2、これまでの振り返りと本日の検討会の進め方について、事務局から説明をお願いします。</p>
2. これまでの振り返りと第6回検討会の進め方について	
事務局	<p>事務局をしております拠点まちづくり担当部の星野でございます。私のほうで資料の説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、資料の2ページをお開きいただければと思います。まず「これまでの振り返りと検討会の進め方について」ということで説明をさせていただきます。第5回検討会でのいくつかのご意見をご紹介します。上から、○×△や点数による評価に対するご意見。次に、中間報告で何をどこまで出すのか、もう一度議論する必要があるといったご意見。3番目といたしまして、内容を確認するのに時間が不足していたというご意見。4番目といたしまして、歴史や文化の視点に関するご意見。そして最後に、これは村山会長のご指摘になりますけれども、シナリオを絞り込むこと、そのためには比較評価をしなければいけないことについて理解いただいたと思う、とお話があった上で、説明不足ですか時間不足等の5つの点で課題があったということのご指摘を頂いたところでございます。</p> <p>続いて3ページをお開きください。第5回検討会での皆さまからのご意見は、別紙1といたしまして配布をさせていただきました。また、第5回検討会の後、事務局の中間報告案に対する意見シートを5名の検討委員の方から提出をいただきました。お忙しいところ、ありがとうございました。こちらは別紙2として配布をさせていただきました。時間の関係上、説明は省略させていただきますので、後ほどご確認いただければと思います。</p>
3. 議事(1) まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り	
事務局	それでは、「まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り」について説明させ

ていただきます。

(資料本編 5 ページ) 左側が明治・大正時代、右側が昭和初期の状況をお示ししております。明治 18 年に品川線の開業に伴いまして赤羽駅が敷設され、交通の要所となります。当時の赤羽駅は現在の赤羽駅の北側にありました。昭和 7 年には都電荒川線の赤羽延伸に伴いまして、都電の停留所と赤羽駅の間を大勢の方が行き交い、商店街も非常ににぎわったということでございます。

(6 ページ) 昭和の戦後ということになりますけれども、昭和 21 年には焼け跡からの復興を目的とした赤羽復興商店街が誕生します。また、昭和 30 年代には東京北部の交通の要所である赤羽駅を起点といたしまして、各方面に結ぶバスも運行され、地元民に加え、各地からの買い物客も集める「商業の街・赤羽」としてにぎわいを見せることとなります。

(7 ページ) このページでは、一番街商店街の入り口と、まるます家さんあたりの 1960 年と現在の写真を参考に掲載させていただきました。

(8 ページ)、こちらでは重点区域周辺の土地利用の変遷をお示ししております。一番左側の 1975 年では、シルクロードには紫色の物販店が多くありましたが、中央の 2000 年になりますと物販店がピンク色の飲食店に業態変化をいたしまして、重点区域の北側ではオレンジ色の集合住宅が増え始めていることが分かります。さらに一番右側の 2023 年になりますと、シルクロードはほぼ飲食店になり、重点区域北側は集合住宅がさらに増えているということが分かります。これらのことから、住民が増えてきた一方、生活を支える、近隣で買い物ができる商店は減り、生活環境の利便性が少し失われてきたということが考えられます。

(9 ページ) こちらから赤羽駅周辺を取り巻く上位計画の内容について説明をさせていただきます。まず 9 ページでは、まちづくりに関する上位計画の全体像をお示ししています。「都市づくりのグランドデザイン」や、その下にあります「都市計画区域マスタープラン」と書かれているオレンジ色の箱あたりは、東京都の計画になります。この都の上位計画を受ける形で区の都市計画マスタープランがありまして、現在検討いただいている「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」、これは図の青い部分になりますけれども、こちらは区の都市計画マスタープランを実現するための計画として位置づけられるものでございます。

続いて 10 ページ以降で各計画の内容を簡単に触れさせていただきます。

(10 ページ) 「都市づくりのグランドデザイン」は、2040 年代の目指すべき東京の都市の姿とその実現に向けて、都が「都市づくりの基本的な方針」と「具体的な方策」を示したものでございます。環状 7 号線の外側から武蔵野線あたりまで、図のオレンジ色の帯になりますけれども、こちらが「新都市生活創造域」でございまして、赤羽については、交通結節性を生かし、商業、教育、文化機能等の集積により、利便性の高いにぎわいのある拠点が形成される地区と位置付けられております。

(11 ページ) 「都市計画区域マスタープラン」は都市計画法に基づくものでございまして、広域の見地からの都市計画の基本的な方針であり、都が長期的な視点に立って都市の将来像を明確にし、その実現に向けて大きな道筋を示すものでございます。本マスタープランでは、赤い字のとおり、交通結節性を生かし、商業、教育、文化機能等の集積や、駅周辺再開発などの適切な高度利用の促進により、利便性の高いにぎわいのある重要な地域の拠点を形成と、位置づけられているところでございます。

(12 ページ) 左側の「都市再開発の方針」は、市街地における再開発の各種施策を長期的かつ総合的に体系付けたマスタープランでございまして、赤羽一丁目地区については、特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき相当規模の地区とされている 2 号地区に指定されております。また、右側の「住宅市街地の開発整備の方針」は、良好な住宅市街地の開発整備を図るため、都市計画として定めるものでございまして、赤羽一丁目地区は、一体的かつ総合的に開発整備をすべき地区とされる重点地区として指定されているところでございます。

(14 ページ) 14 ページと 15 ページでは区の都市計画マスタープランについてご紹介しております。14 ページは「土地利用の基本方針」についてでございます。マスタープランでは都市機能の集積状況から、右上のとおり 3 段階の拠点を設定しておりますが、赤羽は「都市中心拠点」として位置づけられています。赤羽は「東京の北の商業拠点」として、にぎわいの創出を推進することで商業拠点の形成を図ることや、居住の場としても選ばれる東京の北の玄関口として、利便性の高い都市中心拠点の形成を図ることなどが位置づけられているところでございます。

(15 ページ)「地区別のまちづくり方針」のうち、赤羽東地区に関する内容を記載させていただきます。まちの将来像について、右上にありますけれども、「利便性の高い、安心してらせるにぎわいのあるまち 赤羽東」といたしまして、駅を中心とした利便性の高い市街地の形成などを目指すこととしています。具体的な取組方針としては、大街区化などによる都市機能の更新を図ることで高度利用を促進し、都市中心拠点としてふさわしい利便性の高いにぎわいの形成を図ることや、住宅を重点的に供給することで、居住地としても選ばれる市街地の形成を図ることが位置づけられているところでございます。

上位計画の部分、最後でございますが、16 ページをお開きください。「赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会」により「赤羽駅東口地区ゾーニング構想」でございます。協議会では赤羽駅東口地区のまちづくりを一層推進するため、平成 27 年 6 月に将来のまちづくり像を、「まちづくりゾーニング構想」として取りまとめを行いました。この構想では、重点区域は赤羽小学校を中心とした地域の拠点施設、赤羽の玄関口にふさわしい街並みによる駅前商業ゾーン、そして新しい顧客ニーズに応えた商店構成を行う、北側の商業ゾーンに位置づけられているところでございます。

続きまして本日の進め方についてご説明をさせていただきたいと思っております。少しページが飛びますが、32 ページをご覧くださいませでしょうか。本日グループワーク形式ということで、大きく 2 つの観点について意見交換をお願いしたいと考えております。一つは、まちの現況や問題点を振り返り、取り組むべき課題について共通認識を確認したいということ。そしてもう一つは、赤羽のまちの魅力やまちづくりをする上で大切にしたい価値観について意見交換し、どのようなまちを目指すのかについて考察していきたいということでございます。

グループディスカッションにつきましては、まず課題の共通認識を得る左側の青い囲みの「パート 1」、そしてまちづくりをする上で大切にしたい価値観を話し合う右側の緑色の囲みの「パート 2」、それぞれのグループでディスカッションした内容を発表し、さらにディスカッション等を行う「パート 3」の順に進めていきたいと考えております。進行は各グループにファシリテーターが付きまますので、ご不明な点等があれば適宜ご確認

	<p>をいただければと思います。各パートの進め方について、次のページ以降で説明をさせていただきます。</p> <p>(33 ページ) こちらのページでは、前半の「パート 1」について説明します。右の欄をご覧くださいいただければと思いますが、まず事務局のほうから本資料に基づき、現状や取り組むべき課題等について改めて説明をさせていただきたいと思います。先ほど現状については説明させていただきましたので、取り組むべき課題について後ほど説明させていただきたいと思います。その上で意見交換を二巡していただくことを予定しておりますが、まず「話題①」として、事務局が説明した問題に関連して普段感じていること、目になっていること、困っていることなどについて。そして「話題②」として、事務局が説明した内容の他に、こういった課題があるのではないかということについて、ご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>最後にファシリテーターが中心となってグループの意見の取りまとめを行います。おおむね 20 分の意見交換を予定しております。各グループのテーブルの上にポストイットを配布させていただきました。事務局からの説明中などに、その課題に関連して「ああいうことがあったな」というように、お気付きの点があれば、適宜自由に書き込んでいただければと思います。</p> <p>(34 ページ) こちらでは後半の「パート②」について説明をします。「パート②」も「パート①」と同様、意見交換を二巡していただくことを予定しております。まず「話題①」として、誰かの立場に立って、赤羽駅周辺にどのような場所があったらうれしいかご意見をいただきたいと考えています。テーマを記載したカードを引いていただき、そこに書かれたテーマの状況に沿ってご意見をいただくようなイメージです。例えばカードに「子育てしている家族が子どもと訪れたい場所があるとしたら、どのような場所があったらいいか」といったようなことが書かれていまして、その立場になって少しご意見をいただければと考えております。続いて「話題②」といたしまして、皆さまの視点で自由に赤羽駅周辺に必要な場所や機能などについてご意見をいただきたいと考えています。最後にファシリテーターが中心となってグループの意見を取りまとめを行いまして、本パートもおおむね 20 分の進行を予定しております。</p> <p>(35 ページ) 最後に「パート 3」についてでございます。本パートの進行は村山会長にお願いをしております。まず各グループで話し合った結果について、各グループの代表の方を中心に 10 分程度で発表していただきたいと考えています。次に各グループの発表後、相手のグループの発表についての質問や意見交換を行います。最後に会長・副会長からの講評と今回の検討会で出された意見のまとめを行います。本パートもおおむね 20 分の意見交換を予定しているところでございます。</p> <p>これまでの振り返りと検討会の進め方、また現状についての一部の説明については以上でございます。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。次第の 2 のこれまでの振り返りと第 6 回の検討会の進め方ということで、ご説明いただきました。2 ページ～4 ページまでがこれまでの振り返り、それから今日の検討会の進め方に入る前に少し上位計画等、前提とすべき内容についてのご説明も併せてしていただいて、それで資料の 32 ページ以降で今日の意見交換、グループワークの進め方についてご説明いただきました。</p> <p>意見交換の進め方については、かなり詳細が記載されていますが、実際は各テーブルで</p>

	<p>ファシリテーターがうまく説明しながらやっていきますので、今の段階で大きな進め方として、もしご意見があればご発言ください。今の説明について何かご質問等ございましたら挙手をお願いします。</p>
委員	<p>一つは質問なんですけど、10 ページの地図があるんですけども、赤羽ってのは埼玉県にあるのか、この資料を作ったのはどなたなのか、本当に北区に住んで赤羽のことをよく分かってる人がこの地図書いたのかって思うんですけど、どなたがお作りになったんですか。しかもそれをまた点検をしたのかしないのか分かんないけど、区の幹部の方がこれを説明して何とも思わないっていうのはどういうことなんだろう。本当に北区や赤羽のことを考えておられるのか疑問に感じました。その点で質問が一つです。</p> <p>それから全体を通して、私は事前に頂いたやつを若干目を通してきたんですけども、説明が、書いてあることの 5 分の 1 ぐらいしか説明がなくて、それで本当に委員の皆さんが、説明したことが理解できるのだろうか。しかも早口でどんどん進められて困ったなど。そういうことでは説明になってないんじゃないかというふうに思うんです。</p> <p>それから、あとは都市計画法の 6 条の 2 項とか 18 条の 2 項とか 7 条の 2 項とか書いてあるわけだけど、じゃあこれがいったいどういうものなのかということ、ちょっとどっかで資料をちょこっと付けるとかしないと、僕たちはこれをまたインターネットで調べて、それでこう見て、ああ、そういうことなのかというふうになるわけですから、資料としては、僕らが普段目にしないことについては、やっぱり資料的にどっか脇にコメントを付けていただかないと、理解するのが大変だというふうに思います。以上、そんなところです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。2 点目については資料の作り方、説明の仕方に関するご意見ということで承りました。1 点目の、10 ページの赤羽のずれについて、これは技術的なミスだと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局からお答えいたします。資料については事務局とコンサルタントと一緒に作成をしてきているところですが、事務局である区のチェック不足があったと思います。埼玉県のほうに赤羽ということで図示しておりますけれども、この点については大変申し訳ありませんでした。</p> <p>説明に関しましては、今までの説明については、上位計画の内容など、第 1 回検討会でも説明した内容が中心でしたので、省略させていただいている部分がございます。今日はグループワークに時間を使いたかったというところもありまして、説明を簡潔にしているところがございますが、ちょっと分かりにくいというところがあれば、そこは申し訳なかったなと思います。</p> <p>また、資料につきまして注釈等、配慮が足りなかった部分もあろうかと思えます。確かに都市計画法何条と書いてあって、そこに具体的にどう記載されているのかということがないと、この位置づけも明確ではないと思いますので、少しそのような視点で、今後資料作りについては配慮していければと考えております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。あと、資料のご説明については、ご要望に応じて各委員に個別説明をお願いしたいと思えます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。次に進みたいと思えます。それでは次第の 3、議事の (1)「まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り」ということで、既に一部ご説明がありましたけれども、17 ページからの内容について事務局から説明をお願いしたいと思えます。</p>

事務局	<p>では、17 ページから説明をさせていただきたいと思います。まちの成り立ちと現況の部分は先ほど説明させていただきましたが、ここから先は現況・課題・ミッションの振り返りということでご説明をさせていただければと思います。</p> <p>(17 ページ) 先ほど進め方でもご説明させていただいたとおり、本日はグループディスカッションを通じまして、取り組むべきまちの課題について共通認識に立ちたいと考えています。取り組むべき課題やミッションにつきましても、まちの現状や問題点から導かれたものでございますので、改めて現状や問題点から、どういうミッションにつながっているのか、簡単に振り返りたいと思います。17 ページの赤い字の①～⑥が現状の問題点でございます。囲みの中に 1、2、3、4 とありますが、例えば「1、震災・水害に強い市街地の形成」などが取り組むべき大きな課題、テーマとなっております。次のページから、この①～⑥、赤い部分になりますけれども、こちらについて個別に説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>(18 ページ) 18 ページのほうでは、「耐震性が低い建物の老朽化」についてお示ししております。上の段には、第 1 回検討会資料でもお示した、構造別、築年別の建物現況などを掲載していますが、重点区域では現在の耐震基準となる前に建設された建物などが全体の 3 分の 2 を占め、写真のように個別建て替えが難しい長屋状の建物も多く、延焼火災や建物倒壊などの被害が懸念されるため、できるだけ早く建物の不燃化、耐震化に資する対策を講じる必要があります。右下の表は第 5 回検討会で提案したミッション 1 の総括表の抜粋になっておりますが、赤い点線の囲みが取り組むべき大きな課題、青い点線の囲みがミッションとして位置づけていたものです。ここでは「震災・水害に強い市街地の形成」という取り組むべき大きな課題から、「重点区域内の都市基盤の強靱化」と「周辺区域を含めた災害対応力の向上（地震・水害）」というミッションを立てています。</p> <p>(19 ページ) 上の段には第 1 回検討会資料と同様に、北区の起伏や洪水ハザードマップを掲載しておりますけれども、こちらのページでは、重点区域は荒川が氾濫した際に早期の立ち退き避難が必要な区域に該当することをお示ししており、洪水が予想される際には早期の高台避難を容易にする対策が求められるため、青い囲みのおり、「周辺区域を含めた災害対応力の向上（地震・水害）」というミッションを立てております。</p> <p>(20 ページ) 上の段には第 1 回検討会資料と同様に、重点区域周辺の道路の幅員状況などを掲載していますが、こちらのページでは、重点区域内の道路は、曲がりや交差点が多く、幅員が狭いことなど、災害時の避難や緊急車両の進入に支障をきたし、被害が拡大する恐れがあることを示しており、このような状況から青い囲みのおり、「重点区域内の都市基盤の強靱化」と「円滑な交通基盤の形成（高度利用に合わせた円滑な車両交通の確保）」というミッションを立てています。</p> <p>(21 ページ) 上の段ではバス停の現況をお示ししています。緑色の四角がバス乗降場でございます。駅前広場に収まっていないバス停が道路上に点在しております。紫色の四角が降車専用の場所で、駅まで距離があり、交通利便性が高いとは言えないことが分かります。また、写真のように、駅前広場の乗り場も道路上にはみ出して乗客が並ぶこともございまして、大変危険な状況であると認識しております。21 ページでは、このように赤羽駅東口のバス停が駅前広場外に分散配置されていることや、バス乗降場が駅前広場に確保できないことなど、交通結節性が悪い状況を示しているとともに、自転車駐輪場が東本通りも含めて広い範囲で歩道上に設置されていて、バス利用者、自転車利用者、歩行者</p>
-----	--

	<p>の動線が錯綜している状況をお示ししております、このような状況から青い囲みのおお、「歩行者・自転車利用者が快適に利用できる環境整備」と「バスの乗り換え環境の改善」というミッションを立てさせていただいております。</p> <p>(22 ページ) 上の段には公園や広場を示した赤羽駅周辺の航空写真などを掲載しておりますけれども、このページでは、重点区域周辺では空地や緑地が少なく、防災上の広場や、あるいは人々が憩い・集えるような広場などのオープンスペースが不足している状況をお示ししております、このような状況から青い囲みのおお、「重点区域内の都市基盤の強靱化」と「緑あふれる憩い集える空間整備」というミッションを立てております。</p> <p>(23 ページ) 23 ページでは、先ほどの説明とも重複しますが、重点区域では、この 50 年の間に商店街や住宅の状況に変化が見られ、地元の生活を支える商店街から、来街者が多く訪れる飲食店街へと変化をしてくいて、せんべろのまちとしてにぎわいを生んでいる一方、地元の生活を支える商業機能の役割が十分に果たせていなくなっているという状況をお示ししております、このような状況から青い囲みのおお、「都市機能の導入(商業)」というミッションを立てております。</p> <p>この後、25 ページから 31 ページまでは、周辺区域を含めて震災、道路ネットワーク、歩行者・自転車環境、商業に関する資料を参考としてお示ししておりますが、時間の関係上、説明は省略させていただきます。グループディスカッションのほうでは重点区域が中心になるかと思いますが、重点区域に限らず周辺区域も含めて、皆さまが感じているまちの課題や魅力について意見を出していただければと考えておりますので、よろしくお願いたします。「まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り」についての事務局からの説明は以上でございます。</p>
会長	ご説明ありがとうございました。ただ今のご説明、17 ページから 24 ページの内容について質問等ございましたら挙手をお願いします。
委員	<p>22 ページの「有効活用されていない駅前広場」ということで、駅前の喫煙所、稼働してない噴水って書いてあるんですけど、これは有効活用されていないっていうことの見本なのかということと、この噴水をつくったのは、JR がつくったのか、はたまたどこがつくったのかを教えてください。できたばかりの時は、噴水というよりも水を流すだけなので、これは壊れないからずっとあるだろうなと思ったんですけども、その辺のことについて、有効活用されていないというのは、水が出てないから有効活用されていないんじゃないかって思うんです。</p> <p>同じように赤羽公園も昔は噴水があったわけですけども、今は噴水の残骸だけが置いてあるんですけど、これだって噴水出せば夏場はみんな涼しいって言って、集まってくるんじゃないかと思うんですけど、有効活用されていない例として何でこれが挙がってるのか、私には理解ができないので、説明してください。</p>
会長	事務局からお願いします。
事務局	22 ページの右上に喫煙所ですとか稼働していない噴水についての記載がありますけれども、人の憩いの場であるとか滞留の場として十分に機能できていないのではないかと、という例で、記載させていただいております。確かに噴水に関しては稼働していないという状況もあるので、より本来の役割が果たせていないということもあると思いますけれども、そういった視点でこちらのほうでは掲載させていただいたということでございます。
委員	質問に答えてない。誰がつくったのかとか。

会長	はい、噴水は誰が設置したのか。
事務局	設置者については北区のほうで設置をさせていただきます。
委員	じゃあ、北区が無駄なことをしたんだね。
会長	よろしいでしょうか。
委員	はい、分かりました。
会長	他にご質問等ございますか。それでは、意見交換のほうに移りたいと思います。今、事務局のほうから、まちの成り立ちや課題について説明がありましたけれども、それを踏まえて、今度は委員の皆さんのほうでまちの課題や魅力について意見交換をお願いしたいという次第であります。進め方について先ほど説明がありましたけれども、各テーブルのファシリテーターが再度手順を説明しながら進めていきますので、あとは各テーブルのファシリテーターをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事（2）意見交換(グループワーク)【A・B班】

A・B班のグループワーク後

会長	そろそろ時間ですので、これで終わりたいと思います。Bグループのほうに先に準備が整いましたので、Bグループから発表をお願いします。Aグループはファシリテーターにとりまとめ、整理をしていただいて、それから発表をお願いします。それではBグループ、発表をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それで、各発表の後に簡単に質疑応答して、それで講評に移ります。よろしくお願いいたします。
ファシリテーター	<p>それではBグループでございます。Bグループでは発表者を、委員の方々が意見を出すことに集中したいとのことだったので、ファシリテーターからご報告をさせていただきます。</p> <p>Bグループ、まず最初の話です。今の現状・課題、それから取り組むミッションについての話題、ご意見を頂戴しました。順番に申し上げます。利便性の高い交通環境の整備という分野につきましては、今、実は交通手段、電車やバス等の乗り換えがばらばらにあるという現状がありました。ただ、委員の方からは、その分散していることは、実はいざという時に全部が一緒に駄目にならないというご意見で、分散していること自体悪いことじゃないというご意見を頂きました。ただし、その分散している交通機関の間を、例えば地下通路のように行き来しやすい環境を整えていくことが大事ではないかというご意見が、この利便性の高い交通環境の整備の部分で頂戴しました。</p> <p>次に震災・水害に強い市街地の形成。昨日の大雨のこともあってか、たくさんご意見を頂戴しました。一つは避難所が浸水などすると3分の1近くに減ってしまう。要は浸水によって使えない場所が増えてしまうということで、そういった水害時でも使えるような場所を用意する。キャパを増やしていくことが大事ではないかというご意見を頂きました。</p> <p>それから内水の氾濫ですね。集中豪雨の時に内水の氾濫に対する対策がどうなっているのかというご意見、心配だなというご意見と、調整池の整備が進むといいというご意見がございました。</p> <p>それから避難所等については、災害時の設備あるいは資材ですね、毛布やベッドなど、災害時に避難場所で使う資材のグレードアップが必要ではないかというご意見を頂きました。場所だけでなく、そういった場所の機能を高めるような準備が必要ではないかというご意見を頂きました。</p>

それから一時滞在所については、駅前という人がたくさん行き来する場所であれば、区の施設のような公共施設があって、普段は便利に区民の方が使える、そうした場所が、いざという時には災害対策の拠点になるようなものが、この駅周辺にあるということが、結果として、この駅周辺の災害に対する対応を高めるのではないかというお話を頂きました。総じて委員の皆さまから、後半でも出たのですが、やっぱり防災に関する話題が多かったのと、やはりそういったことがまちづくりをする上で大事なテーマなんじゃないかというご意見を頂戴しております。

それから、東京の北の玄関口にふさわしい都市機能の集積というテーマの中では、今、公園であったり、いろんなまとまった場所があるけれども、あれはかつて工場だったり、たまたまそこに大きい土地があったので、そこに公園ができたというようなことで、結果的にそうなっていった。で、今、赤羽の駅前、あるいは駅周辺を考えるのであれば、そこにはどんなものが必要なかといったようなことを考える。それが必要ではないかというお話を頂きました。例えばゾーニングであったり、ゾーニングといいますと、その場所ごとの役割分担、あるいは役割をどう設定していくか。そういったことを考えながらまちづくりを検討していく。そういったことが必要ではないかというご意見を頂きました。

それから、今後 100 年の土地利用を考えていくという意味ではサステナブル。維持できる、続いていける、未来にわたってそうした環境が守られる。そういったことを考えながら、空間づくりをする必要があるのではないかというご意見を頂きました。

それから、まちの魅力を高める公共的空間の整備というテーマの中では、赤羽公園が非常に貴重な場所であるというご意見を頂きました。一方で、例えば地面がちょっと割れていたりとか、冒頭噴水のご意見も出ていましたけども、赤羽公園も大事だけれども、さらに機能を高めていくことで、結果的により良い空間になっていくのではないかというお話を頂いております。

あとは、駅周辺ではやっぱりオープンスペースが少ない。オープンスペースは、公共空間とは言いながら、防災性とリンクしているもの。緊急車両が入れない、あるいは火災対策にもなる。そういった意味でも駅前にオープンスペースを増やしていくということが大事ではないかといったようなご意見を頂いております。

同じく取り組むべき課題について、この 4 つのジャンル以外にどんなご意見が出ていたかといいますと、一つは大規模なスーパーが減ってきたと。特に同時に近い時期にだいぶ減っているという中で、北の玄関口としての都市機能という書き方をしていましたけれども、一方で地元にお住まいの方、地元で生活する方の便利を支えるような、そういったものが必要なのではないかというお話を頂いております。

それから、重点区域以外でも緑が不足していますので、そういった外側のエリアでもどういうふうに緑を確保していくか。また、そういうものが確保されると災害時の活用などもできるのではないかというご意見を頂いております。

それから駅前ですね、せんべろもいいんだけど、客引きがなかなか多くて、行きたいところへ行きにくいみたいな話もありましたので、そういったものを少し見直していく。そういったことがないような環境づくりをしていくことで、より商業地としての魅力が上がってくるのではないかというご意見を頂きました。

それからゾーニング、先ほどお話がありました 100 年の計画ということでゾーニングを考えていく中では、緑の不足、そういったものも改めて考えていく必要があるのではない

	<p>いかということがございました。</p> <p>以上のようなところが、現状の課題と、それから取り組むべきテーマについてのご意見だったと思います。よろしければ続いてもう一つのほうも。</p>
会長	<p>続けて、はい。</p>
ファシリテーター	<p>はい。少し、下のほうで見づらいのですが、ロールプレイでもっているいろんな立場の方になっていただいて、ご意見を頂いたものが青いポストイット。それから、それ以外に自由にご発言をいただいたのがピンク色のポストイットで整理をしております。</p> <p>端からご案内をしますと、子育てしているご家族にとっては、割と全ての機能がそろっている。防犯だったり教育だったり、それから託児所のような子育ての機能。そういったものが身近にそろっていると、やはり子育ての方というのはいいと思うはずなので、そうした子育て機能が整っている環境というのが大事じゃないかというご意見を頂いています。同時に、休日なんかですとファミリー向けの飲食店、こういったものも大事だよねというご意見を頂いております。</p> <p>それから、ご高齢の方にとってはどんな場所が必要なんだろうということについては、安全な歩行空間ですとか、バスなどの乗り換えが楽な場所とか、あるいは身近で買い物を済ませられるような利便性。それから、どうしてもご高齢の方、家にこもりがちになりますので、コミュニティー施設、いろんな人と会えるような場所があるということが大事なんじゃないかというお話を頂きました。そこにある価値観としては、ご高齢の方、あるいは移動がなかなかしんどい方を支援するようなことが大事だろうという価値観。それから、出歩きたくなるような、まちに出たくなるようなきっかけづくり。そういったところが、大事にするというご意見であったかと思います。</p> <p>それから、赤羽に通う大学生さんが、というテーマの中では、どうしてもお金がかかるので行きにくいので、無料のオープンスペースがあったら皆で集まれるのではないかというお話がありました。その委員の方からは、例として池袋の南池袋公園のように、芝生の広場だったり、ちょっと段になって座って溜まれるような、そういったものがあるといいなというお話をいただきました。そういう意味では、価値観としては若い人にも居場所をつくっていく。それは公園であったりオープンスペースであったりということかもしれませんが、そういったことが大事ではないかというお話を頂いております。</p> <p>それから、赤羽に通うオフィスワーカーということで、実はカードでは仕事上がりにちょっと寄れるようなというカードだったのですが、委員さんからは、子育て中とかだとそんなちょっと寄っている場合じゃないと。帰りにお総菜を買えるようなスーパーだったりとか、あるいは仕事であればちょっとすぐ使えるような、仕事でも活用できるようなカフェスペースだとか、そういったものがあるほうがオフィスワーカーとしてはありがたいよねというお話を頂いております。価値観としては、忙しい時間をうまく助けてくれるような、忙しい中でも時間をうまく使えるような、そんな場所が必要なんじゃないかという価値観かとお見受けしております。</p> <p>あとは、オフィスワーカーに限りませんが、急な雨でも、すっと雨宿りできるような場所があると、昨日もすごい雨だったから助かるんだけどなというご意見を頂きました。どちらかというと、それは雨宿りという言葉で意見を頂きましたが、お金を払わなくても多くの方が活用できるような、そういうスペースの余白を残しておく。そんなお話なのかなというふうにお見受けしております。</p>

	<p>それから、外から引っ越してくる方にとっては、赤羽駅周辺がどんなだったら引っ越したくなるのかなというお話の中では、自分が住む例えばマンションの下にミヤシタパークのような飲み屋だったりスポーツをやるところだったり、そういう楽しい場所が家のそばにたくさんあったら、ぜひ引っ越してきたいと思うのではないかなというご意見を頂戴しております。</p> <p>それから別に、このロールプレイ、役割とは別に自由にご発言いただいた中では、資料の中で、北区の方が外へいってお買い物しちゃうという資料がありました。あれについては、そういう点はあるかもしれないけれど、逆を言えば都心に出やすい立地だということを示しているのだから、そういった方向で魅力を伸ばす。交通の便のいいまちだよということで、魅力を伸ばす。そうしたことでパワーカップルのような新しい層がこの赤羽のまちに定着してくれる。そんなこともあるのではないかなというご意見を頂いております。</p> <p>あとは、先ほどの課題のところでもありましたが、地元に住んで便利なお店。生活利便施設のお店はあるのだけれども、品数少ないとネットに流れちゃうということで、そういった品数がそろそろような、そういった商業が地元の住んでいる方にとっての魅力を増やすのではないかなというご意見を頂きました。</p> <p>そうして、最後ちょっと時間ができたので議論していた中では、今の赤羽にも今申し上げたようなものってそろってはいるよね、というご意見でした。ただ、それを何もしないで放置しておく、さっきのスーパーがなくなったみたいに突然変わってしまいますので、まちづくりの中でこういうことが大事だよというのを考えておくということが、そして取り組んでいくということが大事じゃないかというご意見でした。</p> <p>あとは、総じて防災についてのご意見が多く、委員の方からは、やっぱり防災って大事なんだと改めて感じましたというご意見がありました。Bグループの報告は以上です。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。大変丁寧に内容を説明していただきまして、議論もですね。ちょっと時間も押しているんですが、もし一つ二つご質問があれば質疑応答したいと思いますが、いかがでしょうか。大丈夫ですか。僕から一つ質問していいですか。</p>
ファシリテーター	<p>はい。</p>
会長	<p>100年後まで持続するまち、すごく大事なコンテンツで賛同するんですが、もうちょっと具体的なイメージとかが議論されていましてでしょうか。</p>
委員	<p>これは極めて私の希望的なものなんですけども、地域として食・住、そして子育てをはじめ、全てのものが今の赤羽ってある程度バランスよく取れているんですけども、それを、そういう形でもって、小さくまとまりながらも快適に全てのものがまとまって、そして一人一人が満足と誇りを持って住めるまちづくりにしたいなと思うんですね。</p> <p>そういう意味では、先ほどのそこに書いてあるように、ある程度のものは結構そろっているんです。でも、このまま放っておくと、例えば災害にしろ火事にしろ震災にしろ、突然崩壊する恐れと隣り合わせで生活することになるので、永续性を考えたいということでございます。</p>
会長	<p>よく分かりました、ありがとうございます。それではAグループの皆さん、発表をお願いします。5分以内でよろしくをお願いします。</p>
ファシリテーター	<p>まずAグループでは、課題認識のところでは、利便性の高い交通環境のところでは、東口と西口が分散していて、同じ目的地に行くのにバス停が違うですとか、東西</p>

	<p>の車両の行き来みたいところで、今一方通行でなされているところが不便であるという話ですとか、駐輪場が分散配置されているという問題についても、個別の街区ごとみたいなまちづくりというよりは、大きな範囲で捉えた中で一括して検討すべきだというお話を頂きました。</p> <p>それから、震災・水害に強い市街地の形成のところでは、やはり先日起きた豪雨の話が出まして、あと小学校が隣接していますので、学校に対する影響として、火災ですとか緊急車両の通行のできない道について課題認識をされているということがございます。</p> <p>それから、まちの魅力というところで、駅前広場の空間について、駅前の顔にふさわしいゆとりのある空間が必要じゃないかというご意見が出たのと、取り組むべき課題のところで、コミュニケーションの場、新しい居住者と従来の居住者と、あるいは外国の方含めて、コミュニケーションの場づくりみたいなのが必要じゃないかというご意見も頂いております。</p> <p>次に、価値観ですかね。こちらについては、ロールプレイでいろいろお話が出ましたけれども、せんべろ化してしまったことによって割と治安が悪いと感じる方が多くなってきたという中では、安全安心ですとかを求める声と、まちに清潔なトイレですとか、段差のない道ですとか、そういったものが求められるというところで、施設としてどんなものが欲しいかというところだと、今、赤羽にない映画館ですとかアリーナ。中学生や高校生の方々が立ち寄れるようなアリーナ、スポットが求められているという内容になっています。</p> <p>ここの価値観というところでも、多くの世代の方、それから新旧の方々が集まってコミュニケーションがとれるような空間づくりですとか、ソフトの面でのイベントづくりみたいなことが、新しいまちに求められているという内容でございました。</p>
会長	<p>はい、報告どうもありがとうございました。ご質問等ございますでしょうか。大丈夫ですか。それでは全体として、もし何か委員の皆さんからご質問やコメントがあればお願いします。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>皆さんの今、各グループのご意見を聞いておまして思ったのは、やはりこれ、より広域的に統一感を持っていわゆるまちづくりをしていかなければ、一つ一つ全部叶えることはできないなというふうに感じました。将来の、100年という言葉がありましたけど、50年、100年先を見据えたまちをつくる次世代に承継するには、やはりより広域的な展開が必要だと感じました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。他にいかがでしょうか。それでは、どうもありがとうございます。全体がよく見えました。これ、記録としてしっかりと文字を起こして、あと皆さんに分かりやすいように整理すると思いますので、また詳しくはそちらをご覧になっていただければと思います。</p> <p>それでは、まず山口副会長、それから齋藤副会長、で、私から全体のコメントをさせていただきます。山口副会長、よろしくお願いします。</p>
副会長	<p>ディスカッションお疲れさまでした。ありがとうございました。いろいろな意見が出されたので、やはりこれまでよりは、こういうグループディスカッション形式でそれぞれ意見を出しやすかったのではないかという感じがしますし、後半のほうの、別の誰かという視点で意見を出していただくというようなやり方もして、いろいろな方面から考えるということができたのではないかと思います。</p>

	<p>ただ、やはりちょっと時間が、なかなか各自の意見、しっかり発言できたとは思いますが、それをさらに発展させるディスカッションという時間は残念ながら少なかったかと思えますけれども、今後またこれから進めていく上で非常に有意義ではなかったかと思えます。これまでもいろいろ課題等に関しては資料で区のほうでまとめられていて、ある程度、重複はしてはいたけれども、皆さんもこういうディスカッションの場で、より自分の感覚としていろいろな評価項目等をまた見直すきっかけになったのではないかというふうに感じております。私としても、また新たな課題の把握に関して非常に有意義だったというふうに感じております。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。齋藤副会長、お願いします。</p>
副会長	<p>皆さん、お疲れさまでした。私は、今回このやり方で会を進めるということに関して、ちょっといろいろ危惧と申しますか、どんなふうになるんだろうと、今さらこんなこと話してもしょうがないんじゃないかとか、これがどうなるんだみたいなこと、少し心配をしていたんです。しかしながら、その心配は全くなくて、全く的外れな心配だったということがよく分かりました。</p> <p>と申しますのは、逆に言うと今までのやり方が、資料に対する皆さんの意見を聞くという形だったのかなど。でも今回は、皆さんご自身の言葉で、まちに対しての意見というのがたくさん出てきた気がするんです。ですので、資料を今まで作成、丁寧に議論してきたということと比較しても仕方ないんですが、今日のほうが私は、この皆さんが考えている地域の将来の姿というのは、断片的ではあるんですけども、少し見えてきた気がしました。</p> <p>で、今までの議論があったからこうなったのかなという気もいたしました。それは例えば、今日4つのテーマについてお話いただいたんですが、実はこの4つのテーマは今までの詳細な資料、しかも全体を俯瞰してシナリオという形でこうやってきた。そこから抽出された4つのテーマだったんです。つまり皆さんが話すべきポイントを今まで整理してきて、今回その中身をまさに議論していただいたというような感想を持ちました。</p> <p>ですので、今、山口先生のほうからもありましたけれども、皆さんの今日の言葉を資料とどう対応させていくか、どう当てはめていくかということ。そのあたりをすると、資料についても今までの詳細で広範な検討についても血が通うと言いますか、より将来像を明らかにする。シナリオでやってきたこの限界みたいなものを補うことができるんじゃないかなど。そんなふうに感じました。</p> <p>あと一つだけ、皆さんの議論の内容の中で、こういうことがもう少しあると面白いなと思ったのは、今回はいろんな課題があって、それをどう解決するか。いろんな魅力をどうつくっていくかというのを全体のまちづくりの中でどう実現するかと。そのあたりが話の中心だったと思うんですが、逆に、こういうものはこういうふうに残せるんじゃないか。先ほどちょっと赤羽公園の話だったりとか、せんべろという文化と申しますか、そういう動きの話とか、こういうものがあると。でも、これはこのままではなくて、こんなふうにしたら、もっとより良く残せるんじゃないかというご意見もいくつか出てきたんです。</p> <p>ですので、そういった、こういうものをこういうふうに残していきたいとか、こういうふうに変えていけばより良く残っていくんじゃないかと。何かその2つですね。課題からどう解決していくか、魅力をどうつくっていくかと併せて、そんなことも議論でき</p>

	<p>るとより良くなってくのかなと思いました。以上です。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。最後は私から。今回の作業は 2 つに分かれてましたが、まず前半のほうは齋藤副会長がおっしゃったように、これまで資料の中で提示してきた項目を大枠に設定して、その中で具体的に課題を出していただいたと思います。</p> <p>それで、やっぱり資料ですと何でもシンプルにしようとして、いろんなところを削り取ってしまって、中身がなかなか分からないような表現になってしまっていたところを、その中にちゃんと具体のディテールを入れていただいたような気がしていて、どれも大事だと思いました。それから特に B グループの議論では、その中でも防災が重要だということがこの議論から明らかになりましたので、引き続きこういった議論を続けながら、重要なポイントを探っていく、具体的な取り組むべき課題のディテールを詰めていくようなことをするのかなと思いました。</p> <p>それから後半につきましては、多様な立場からこのまちの将来像、ここでの暮らしの将来像を描いていくような作業だったと思います。それで、やはり今までは、問題の解決だとか、それから課題は何かというところで、マイナスをゼロにするような、あるいはマイナスをプラスにするようなことが多かったんですが、むしろ積極的にプラスのほうを考えていく、伸ばしていく。こういうまちでこんな暮らしをしたいというところが見えてきたので、それはこれからいろいろなパターンの開発を考えていくと思いますけれども、その共通基盤として、どんな開発にするにせよ満たすべき項目として共有できるんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>今日、やはり時間が限られておりましたので、もうちょっと中身を追加したりとか、議論すべきだと思うので、何らかの形で今日の作業をベースに拡充させていただければいいかなと思いました。以上で講評を終わりたいと思います。皆さん、ありがとうございました。ファシリテーターの皆さま、どうもありがとうございました。</p> <p>それで、また次第に戻りまして、議事が終わりましたので、4 のその他事項に移りたいと思いますが、今後の検討会の進め方等について事務局から説明をお願いします。</p>
4. その他	
事務局	<p>はい、事務局から簡単に 2 点ご報告させていただきます。資料本編の 36 ページをご覧くださいでしょうか。冒頭でも話がありましたように、本日ご意見いただいた内容と同じような項目で、地域住民へのアンケート調査を実施したいと考えております。36 ページに記載の要領で進めていきたいと考えております。検討委員の皆さまには参考で現時点の調査案、アンケート調査票の案をお配りさせていただいております。時間があれば、「何かご意見があれば」ということでお伺いしようと思っていたのですが、時間もございませんので、もし何かご意見等あれば、来週中に事務局のほうまでご一報いただければと思います。ご質問についてもお答えするようにいたしますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>そして最後 37 ページです。今後の進め方の予定ということでございまして、本日意見交換いただいた内容も踏まえて、第 7 回以降の検討会を進めていきたいと考えております。日程については既に固めておまして、第 7 回検討会については 10 月 7 日、第 8 回については 11 月 18 日、それぞれ 2 時からこの場所ということで進めていきたいと考えております。</p> <p>(4) のところにありますように、冒頭でも話がありましたが、「これまでの議論の経過</p>

	のまとめの報告」ということで、年末、区民の皆さまへの報告を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。事務局からの報告は以上でございます。
会長	はい、どうもありがとうございます。最後に事務局から、この部屋からの退室について連絡があるので、お願いします。
事務局	はい。最後に会場からの退室につきましてですが……
委員	ちょっと待ってください、その前に質問、アンケートについての。
会長	はい、質問は端的にお願いいたします。
委員	アンケートは、これ全然、みんなで議論しないと駄目だというふうに思ってますけど。例えば年齢については、いまや18歳以上が有権者なわけですから、20歳未満じゃなくて18歳～29歳で、18歳未満というふうに変えるべきだとか、赤羽駅と赤羽岩淵駅を一緒くたにして聞いているっていうのも駄目だし。それから2番の魅力について適当だっていうふうに書いてあるんだけど、じゃあ赤羽の馬鹿祭りが歴史的な文化なのかと。もっとお寺とか神社だとかって、いろんなものがあるじゃないですか。そこに伝わる芸能だとかも。馬鹿祭りが文化だというふうに思わないですね。一つかもしれないけど。それから赤羽公園が、魅力を感じるかどうかって、ここに該当に入っていないんですね。で、赤羽会館だとか……
会長	ありがとうございます。これはまだ、事務局から説明がありましたとおりの調整中の内容ですので、各委員からの今のような具体的な修正提案を含めて伺って、それで最後は私もチェックしますし、どのタイミングで出すかについても検討して進めたいと……
委員	議論はしないということですね。
会長	必要であれば議論をします。まずはご意見を頂くことが重要と考えています。
委員	誤字脱字もありますしね。
会長	はい。今日の会議の時間では、時間的にできませんので。
委員	じゃあ次回やってください。
会長	それではこれで終わりたいと思います。第6回赤羽周辺地区まちづくり基本計画策定検討会を終了いたします。皆さま、長時間にわたりありがとうございました。
一同	ありがとうございました。